ブロックだより

東北ブロック総会（秋田県支部主催）

第1回は、昭和55年宮城県。7巡しての秋田大会は39回目でした。来年は青森県です。

令和5年10月30日(月)13時30分～31日(火)13時30分の日程で、会場を横手市の「日本料理里乃や前郷店」で。総会は14名出席で懇親会は13名でした。濃密で心通う総会となりました。

ご来賓は、本部から3名、本部相談役石川寿朗氏。副会長橋本丈次氏、お忍びで参加された本部監査役高垣むつ子氏。

ブロックメンバーは、11名でした。

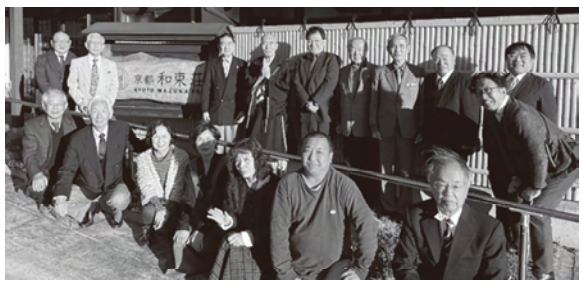
宿泊宿「横手プラザホテル」の温泉で寛いだ方も、玄関で記念撮影し、533m先の会場へ。

1．開会行事
①東北ブロック長（兼秋田県支部長）佐藤朋夫
②ご来賓ごあいさつ
本部から3名
③歓迎のあいさつ
秋田県支部会計監事
小玉幸徳
※来賓・出席者紹介
2．活動事例発表
▲演題「定年帰農ー春夏秋冬を愛おしむ」
▲発表者　伊藤寿人氏（平成8年卒）
3．協議
各支部の総会開催や活動状況の報告等
※助言　本部来賓より
4．懇親会
参会者全員のスピーチいただきながら濃密で大盛会でした。2次会は、歩いて「月いろ」へほぼ全員参加となりました。

翌日、朝食後9時出発で、伊藤寿人氏の車で7人参加。増田まんが美術館・工事中の成瀬ダム・紅葉の小安峡、山内道の駅で昼食し横手駅で再会を誓いました。

（文責：阿野 広美）

関西ブロック総会（京都府支部主催）



令和五年度校友会関西ブロック総会は、11月18日(土)京都府相楽郡「和東荘」で、本部から渉外部長橋本丈次様、本部事務局長藤井友和様、富澤良光様、石川寿朗様をはじめブロックからは金子栄輔様、谷川正徳様、河津和彦様、大形弘様をお迎えし、十七名の参加者で開催しました。

関西ブロックは大阪府、兵庫県が休会し現在京都府と奈良県支部で実施していまが、今回の総会で大阪府支部が再開することが決まり、全員の承認で次回のブロック総会で再びお会いすることとなりました。

講師として、日本大学校友会奈良県支部長で薬師寺菅主の加藤朝胤様をお迎えして「お釈迦様の教え」と題し、一時間あまりの講話をいただきました。今の自分を見つめ、現在なにが自分にできるかを考えて、功徳を積み重ねるようにと諭されました。心が洗われるようで素晴らしいお話しでした。

次期開催県は京都です。古に奈良の都平城京から京都平安京に遷都したように、次回の京都の地で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

（文責：立花 初代）

四国ブロック総会（徳島県支部主催）

令和5年度四国ブロック総会が、コロナウイルス感染症の中断後、3年ぶりに11月12日(日)徳島市内のホテルにて開催された。

総会には、橋本丈次副会長・渉外部長、立花初代関西ブロック長、古市重吉九州ブロック長、友情参加の金子栄輔関東ブロック長、山﨑孝明愛媛県支部長、木村進香川県支部副支部長、土井榮次四国ブロック長、徳島県支部会員4名総勢11名が参加して開催された。

橋本副会長のあいさつに続いて議事に入った。

一番の問題は、会員名簿の件で、この問題に多くの時間を費やした。個人情報の関係で、新規卒業者の名簿が支部に送られてこないため、支部としては、衰退の一途をたどるのみで、打開策を本部にお願いすることとした。

この問題は、第二部の懇親会でも話し合われたが、本部の判断次第となった。

懇親会終了後、阿波踊り鑑賞に参加し、金子関東ブロック長が、観光客の中から、一番踊りが上手ということで、優勝した。

（文責：土井 榮次）

九州ブロック総会（長崎県支部主催）

令和5年度九州ブロック総会を令和5年10月21日(土)、長崎市の「ホテルセントヒル長崎」において開催しました。

新型コロナの影響により、令和2年度以降延期を余儀なくされましたが、4年ぶりに対面で開催することができました。

総会では、来賓として大学から髙橋潤通信教育部事務局長、本部から北村周之会長、志賀雅代副会長をお迎えし、福岡県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県、長崎県の5支部参加のもと計16名の出席をいただきました。

開会に当たり、古市重喜ブロック長、次に開催県の長崎県支部長の挨拶の後、来賓挨拶に移りました。

議事においては、長崎県支部長が議長を務め進行しました。

まず、大学・校友会近況報告では、髙橋事務局長から日本大学及び通信教育部の現状について説明があり、北村会長からは校友会が学生支援に意欲的に取り組んでいる状況について報告がありました。

次に、各県支部活動報告では、このところ活動が停滞し立て直しが急務となっている支部があることから、校友会本部による支部の再興、立て直しへの協力をお願いしたいと要望がありました。

これに対し、北村会長からは、学習センターと連携した支援活動の展開などについて具体的な説明がありました。

併せて、次回ブロック総会の開催に際しても、校友会による支援の方向を確認することができ、大変ありがたく感じたところでありました。

最後に、次回開催県を福岡県支部と決定し、来年の再会を期して総会の議事を終了しました。

会議の後には、懇親会を開き、親交を深める絶好の機会となりました。

今回、大変意義あるブロック総会とすることができましたことに心から感謝を申し上げます。

（文責：久野 幸雄）

支部総会

石狩支部

令和6年7月6日(土)、正午より14名のご参加を頂き、札幌グランドホテルにおいて、石狩支部総会を開催いたしました。

会は支部長挨拶後、議長には佐藤さんが選出され穏やかに始まりました。議案は、令和5年度事業報告、会計決算及び監査報告、続いて令和6年度事業計画、予算案が提示され、すべて原案通り承認、可決されました。

本年は役員改選の年ではないのですが、引山さんが退任を希望され、木曽さんが新会計監査を快諾してくださいました。

また、笠井さんが新幹事として活躍してくださることになりました。

会計より、支部会費納入方法について、現状は、郵貯口座へ振り込みされているのですが、郵貯規定が更新さる毎に手続きが難しくなり更に今年度から振込手数料の値上げが決定されています。これらの踏まえ、今後は口座振り込みではなく、支部の通帳に直接入金していただき手数料は各自負担とすることが決議されました。

恒例のレクリューションは、10月19日、新さっぽろ青少年科学館で、プラネタリウムを鑑賞する予定です。2月には新年会を予定しています。

多くの支部会員が、様々な行事に参加する事で支部の活性化がなされます。その為には、「来てよかった」「また参加したい」と云っていただけるように創意工夫に努力いたします。

また、新卒業生へ入会が最も重要であることを再確認し、総会は和やかに閉会しました。

（文責：作田 良子）

岩手県支部

総会は、令和5年10月28日(土)15時30分から盛岡市大通「橋本屋支店」で開催されました。

参加者は八名で、令和四年度の行事結果と決算、令和五年度の行事計画と予算が承認されました。また、令和五年度本部総会の結果や日本大学校友会岩手県支部の様子について、菅原から報告を行いました。この中で、一連の報道で暗い話題が多かった日大が、駅伝の予選会を突破し、来春の箱根駅伝での活躍が期待されるとの話題も提供したところ、出席者から歓声が上がりました。

総会の後、菅原顧問の発声により懇親会が開催されました。昨年までは感染対策をとりながらの開催でしたので、通常開催の形に戻れたのは嬉しい限りです。

懇親会では、お一人お一人から近況報告などを自由に発言していただきました。在学していたころの勉強で苦労した点、スクーリングの様子、仕事のこと、趣味や地域貢献活動のことなどいろいろな話題が出されました。

特に、若い世代の校友会への参加を拡大させるために、今後どのような活動をしていけばよいのか、本部等と連絡を取りながら、関わってもらう方法を考えていきたいとの発言が多数ありました。

参加者といろいろな意見を交換することができてとても有意義な支部総会となりました。今回都合で出席出来なかった方も加え、来年もまた有意義な支部総会にできればと願っております。

（文責：菅原 伸芳）

秋田県支部

今年度の支部総会は、当初4月15日でしたが、幹事長の直近の体調不良により、8月6日(火)18時から、昨年の東北ブロック総会での会場でもあった、地元横手「日本料理里乃や前郷店」で開催いたしました。料理長が山内で上品でリーズナブルな和食で、今回はイワナも出て、美酒美食、4名の参加で非常に和気あいあいの総会でした。

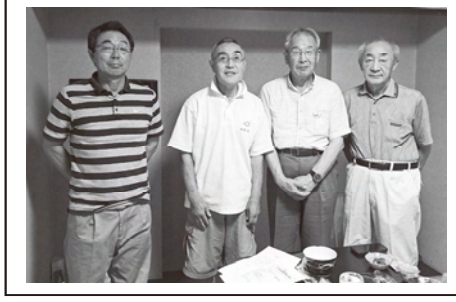
①平成8年卒で4年前まで高校教師、定年帰農の伊藤寿人氏からのこの間の大雨被害でスイカ畑の被害ほか、でも元気で力の出る近況報告であった。（昭和33年卒の佐々木重一氏のご次男）

②昭和40年卒横手市の福田健一氏の近況報告

③昭和43年卒の支部長佐藤朋夫氏は、差し入れの美酒持参でのお話（平成29年から支部長）

④令和9年卒、幹事長阿野広美は、枝豆持参。

会費はおひとり3000円で不足分12000円は会から供出した。



（次頁に続く）